

平成28年（2016年）第3回市議会定例会本会議（10月14日）

予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となりました議案第85号から第94号までの以上10件につきまして、予算決算常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、9月23日会議を開き、会計管理者から総括説明を、代表監査委員から審査意見を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、市民病院短期貸付金への安全性を確保するために協定に規定すべき記述内容、予算額と決算額との乖離縮減に向けた取り組みを求める理由、経常収支比率から見た物件費への影響についてであります。

その後、担当する各分科会に付託議案を送付することを決定し、9月27日、28日、29日、30日及び10月3日の分科会において、詳細な審査を行いました。

委員会は、10月12日に再度会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑はなく、総括質疑を行いました。

総括質疑での主な質疑を申し上げますと、議案第85号 平成27年度

横須賀市一般会計歳入歳出決算は、事業の効果検証及び評価の重要性に対する市長の認識、こども政策アドバイザー配置において魅力の発信のみではなく政策・施策の強化を進める必要性、事務事業等の総点検を毎年実施する必要性についてであります。

議案第94号 平成27年度横須賀市病院事業会計決算は、議会の関与なく貸し付けを可能にした指定管理業務基本協定書締結の妥当性、予算及び決算説明資料に実質的な会計情報を記載する必要性、長期貸付金として予算計上を行わず単年度の貸し借りという手法を選択した理由、貸し付けの廃止あるいは貸付金に対する担保確保に向けた改善策をとる必要性についてであります。

次いで、討論はなく採決の結果、議案第87号及び第89号から第91号までの以上4件は全会一致で、議案第85号、第86号、第88号、第92号及び第94号の以上5件は賛成多数で、いずれも認定すべきものと決定しました。

また、議案第93号は賛成多数で、原案どおり可決及び認定すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。